

# 会 議 録

## 1 会議名

平成28年度第3回保倉区地域協議会

## 2 議題

### 【報告事項】

新クリーンセンターの整備について（公開）

### 【協議事項】

自主的審議事項について（公開）

## 3 開催日時

平成28年7月27日（水）午後6時00分から午後8時02分

## 4 開催場所

上越市立保倉地区公民館

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 宮川和市（会長）、吉川善一（副会長）、池田つえ子、大堀幸子、  
佐野和明、中島厚、早津輝雄、松林剛、丸山隆夫、山岸功、吉田一枝、  
（欠席1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主事  
生活環境課：川上副課長

## 8 発言の内容

### 【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【宮川会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：早津委員、松林委員に依頼

議題【報告事項】「新クリーンセンターの整備」について、担当課へ説明を求める。

【生活環境課：川上副課長】

- ・挨拶
- ・資料No.1に基づき説明

【宮川会長】

説明に対し、意見等はあるか。

【中島委員】

新しいクリーンセンターでは、職員配置及び人件費は、現在よりも若干少なくなるのか。

【生活環境課：川上副課長】

資料No.1の「1. 概要」の事業方式に『DBO方式』を採用していると説明させて頂いたが、「O=オペレーション（運営）」については、全て受託者に委ねられている。人件費を削減するために、自動的にごみを焼却する機械を入れるという案や、反対に、安価な機械を入れ、人員を増やすという案もあり、受託者が安くて効率的な方法をとることになる。

こちらで聞いている情報では、現在稼働している、第1、第2クリーンセンターを1つにするため、人力的には減るとのことである。

【早津委員】

民間の業界だったが、ここ1、2年、病院や公共施設、マンション等で地下に埋めるパイプ等で不正を行ったという問題があった。新クリーンセンターについて、行政はどのように対応したのか。

【生活環境課：川上副課長】

早津委員がおっしゃっているのは、基礎の杭についてのことだと思う。問題となったのは、横浜のマンションだと思うが、杭工事のデータ偽装までしていた。昨年9月に問題が表面化したと思うが、新クリーンセンターの杭打ちは9月で終わっていた。しかし、杭打ちを実施する前、地質調査を行った。上越市は地盤が軟らかいということもあり、市でも調査したが、受託者が決定してからも受託者独自でボーリング調査を行っている。60m以上の杭を入れないと、硬い層（支持層）まで届かないという結果が、市の調査でも受託者の調査でも分かり、受託者で60m以上の杭を打ち込んだ。受託者が

杭を調達し、納品の際、全ての長さを測り、検査（検尺）をしていたので、資料は全て整っており、確認ができた。横浜市の事件で、「穴を掘るドリルの電流値が偽装された」という話があったため、電流値についても確認したが、「電流値は地質や水分の量により、変化するため、電流値のみでは証明はできない」とのことだった。電流値では証明できないが、硬い層にぶつかると、機械に振動が出る。それを各オペレーターがチェックしており、それも確認した。市が全て立ち会っている訳ではないが、施工監理をお願いしている事業者が全てを確認し、「間違いはない」という回答をいただいている。

因みに60mの杭の長さだが、現在稼働している、第1、第2クリーンセンターに設置されている煙突が56mである。それよりも長い杭が地中に入っている。特に工場棟については、約150本の杭を打ち込んでいる。

#### 【宮川会長】

本体工事については、その都度、非常に細かく説明していただいております、地元の方からの不満はないと思っているが、かねてよりお願いしている交差点の信号機の設置について、進展はあったか。交差点は、かなり危険な場所だが、信号機もない。信号機の設置を依頼しても、「優先順位がある」とか「用地が足りないのではないか」等、警察署の公安委員会へ行っても、そういう言い方しかしない。行政の立場で、もう少し地元のことを考えて、そのことについて、どんなアクションを起こしているのか。教えていただきたい。

#### 【生活環境課：川上副課長】

信号機の設置のほか、県道への歩道の整備、くるみ家族園の存続、谷内川の改修等、いくつか要望をいただいている。信号機の設置については、県の公安委員会の事業である。毎回、同じ回答になってしまって申し訳ないが、市としては、要望を挙げており、信号機の設置に向け、今後、市としての要望の順位を上げるという形で、要望を続けていくという対応になる。

何年か前にも、地元の皆さん、県議会議員の皆さんと一緒に、県の事務所や警察署へ要望に行った。そのような地域の皆様と一緒に、事業主体に要望活動を続けていくことが、市の役割と考えている。

#### 【宮川会長】

一般的な考え方だと優先順位はあるが、何時になるか分からない。上越警察署にもお願いに行っている。新クリーンセンターが、来年、新たに稼働するのはいいが、稼働に

合わせて信号機だけでも設置してもらわないと、地元としては多くの不満が残る。このことを庁内で話し合い進めていただきたい。次回、新クリーンセンターの報告で来ていただいた時に、どんなアクションが起せたのか、何か進んだ話はないのかを教えてください。

#### 【早津委員】

今、宮川会長がおっしゃられたことは、全くそのとおりである。もちろん、努力されているのは分かっている。しかし、努力しても、結果が出ないと、途中経過でしかない。地域的に言えば、新クリーンセンターの建設地は北諏訪区だと思うが、小泉のし尿処理施設にしても、風下は保倉区である。小泉のし尿処理施設の建設の際も、「全て蒸気なので、空中には何も有害なものは出ない」という説明を受けてきたと記憶している。また、農村集落の下水処理場も、建設当時、業者と市の説明は「全く無臭である」という説明だった。しかし、私の家の畑が傍にあるが、そこに居られないくらいの悪臭が出る。業者のパンフレットの説明と市の説明は、普通、市民は信じるが、業者と市の説明が正しくないと童話の「オオカミ少年」と同じことになってしまい、最終的に信用できなくなってしまう。

地元が要望していることについて、100%は無理かもしれないが、いくつか要望に応じて欲しい。毎年、どこかの交差点で道路改良に伴い、信号機を新しくしたり、近代的なものを付けたりして、異常がなくても外した中古の信号機がある。お願いしている交差点は工事車両が多く通り、危険な場所であるが、そういうものが使えれば早く設置できる。県や警察とよく話していただきたい。立地は保倉区ではないが、長い間、風下に居て協力しているのだから、「それくらいはしなくてはいかんだろう」と、ここは、心と心の対話をしていただきたい。

#### 【宮川会長】

信号機については、私も町内会長協議会長をやっていた時から何回も触れていた。新クリーンセンターが稼働するという含めて、良い機会だと思い、特にお願いしてきた事項である。我々も市議会議員や警察に頼みに行くので、市のほうも行動をお願いしたい。歩道までセットで造っていただきたいとは言わない。信号機くらいは設置していただきたいという要望である。

#### 【生活環境課：川上副課長】

地元と一体になって進めて行きたいと考えている。

**【宮川会長】**

本体工事については、進捗状況は常に報告していただいていることは結構だと思う。  
その進捗状況と併せて、信号機設置の進捗状況も次回には報告していただきたい。

他に意見等がないので、この件については終了とする。

— 生活環境課 退室 —

次に**【協議事項】** 自主的審議事項について、事務局へ説明を求める。

**【星野主事】**

第1回の会議で、地域協議会の役割の一つである「自主的審議事項」について説明させていただいたが、本日は、改めて「自主的審議事項の進め方」について、説明させていただく。

その後、地域の年齢別人口などを参考にしながら、委員の皆さんが、保倉区で住んでいる中で、感じていることや、問題になっていることなどを挙げながら、情報共有も含めて意見交換していただきたい。また、新しく委員になられた方は、地域協議会に関することで、不明な点も多いかと思う。そのような点も出していただきたい。

・資料①、資料No.1に基づき説明

**【宮川会長】**

資料No.2「保倉区の年齢別・行政区別男女人口」内の『保倉区の高齢化率』だが、計算してもこの数字にはならない。間違いではないか。

— 事務局で計算し直し —

**【星野主事】**

申し訳ない。こちらの計算誤りだった。訂正したものを、再度示したい。

**【宮川会長】**

次回、改めて配付していただきたい。

— 他にも間違いがないか、委員同士で確認 —

**【早津委員】**

資料No.3について、保倉地区に生まれて、保倉保育園に登園しない子もいるし、他区から保倉保育園に登園している子もいると思う。その辺も、よく点検していただきたい。数字だけでは、いろいろな意見が出て、事務局で答えられなくなってしまう。

**【宮川会長】**

仕事の関係で、他区から保倉保育園に登園している子もいるかもしれないので、保倉保育園に登園している子が、そのまま保倉小学校へ行くとは限らない。

**【星野主事】**

資料No.3の数字は、平成28年5月1日現在のもので、このままの数字で平成34年度まで推移していくとは限らない。

**【宮川会長】**

資料のような数字で推移していけば、「統合」という話はすぐに出てこないと思っている。

今、一番頑張っているのは、定住化対策をやっている早津委員なので、この数字が、低くなっていくようでは、みんなが困ってしまう。資料No.3の数字を見ると、そこまで少なくならないので喜んでいる。定住化対策で、保倉区に来てくれた子供たちも何名か保倉小学校へ通っており、それが増えている要因である。我々も、一生懸命やった甲斐があると感じており、早津委員からも説明していただきながら、喜んでいる。

**【早津委員】**

一言だけお願いしたい。

資料を間違えたことを責める訳ではない。次回、きちんと訂正したものを示していただければそれでいい。ただ、数字を出す時は、十分注意していただきたい。担当課から出されている資料そのものが正しいのか、というものもチェックしながら、改めて出していただきたい。

**【宮川会長】**

では、先ほどの事務局の説明に対し、意見等がないようなので、次へ進める。

今後の進め方について、事務局へ説明を求める。

**【星野主事】**

この後、皆さんからは意見交換に入っていただきたいと思う。

自主的審議ということで、まずは、委員自身が考える「地域の課題」を自由に意見交換していただきたい。

○話し合うテーマの参考

- ・地域が求めている（大切な）ことは何か。
- ・今後、地域をどのようにしていくべきか。

- ・まずは、地域を知る（住民との意見交換の実施：事前に対象者やテーマも考える）
- ・地域活動支援事業（どんな提案が地域活性化につながるか考える）
- ・地域協議会委員研修会の実施について（上記内容を受けて、何の目的のためにどんな研修またはどこへ視察を行ったらよいか）

以上のテーマ以外のものでも構わない。自由に意見交換をしていただきたい。

#### 【宮川会長】

まず、皆さんから「地域の課題」を挙げていただきたいのだが、それに拘る必要はないと思っている。事務局から「住民との意見交換の実施」という例もあったが、町内会と地域協議会が合同で話し合いをする機会があってもいいとも思っている。町内会長が3名、当協議会委員となっているので、お互いに情報は流れていると思っている。それと、先進地に研修に行くことも一つの方法だと思う。最初の頃、定住化の先進地だということで張り切って視察に行ってきたが、今、保倉区の人口がどれだけ増えているかわからないが、「小学校へ上がる子供たちが、少し増えた」ということで、同じような活動をしている所へ御意見を聞きに行くのも、一つの方法だと思う。

皆さんから意見等をお聞きしたい。

#### 【関川センター長】

先ほどは、こちらの資料に誤りがあったが、意見交換をやる上での話題提供ということで、人口の資料を出させていただいた。他にも知りたい情報等があれば、こちらで資料の準備をさせていただく。

今ほど、宮川会長がおっしゃられた視察や、住民との意見交換等もあるが、他の地区では、今までの地域活動支援事業で整備したものがどうなっているのかを見て廻るといふ所もある。

いろいろなやり方があると思うので、自由な意見交換にしていきたい。

#### 【早津委員】

第1回地域協議会の際、自治・地域振興課の佐藤課長が来られて、「行政の説明責任を果たしていく」、「これは全庁を挙げての強い方針です」と言って帰られた。間違っていないが、佐藤課長自身が説明責任を果たしていない。何故そのようなことを言うかという、協議会に来られて、挨拶だけして、すぐ帰るのではなく、話したことについて、意見を聞いて帰る。そこまでが、行政の説明責任だと思っている。そこから間違っている。次があり、忙しくて余裕が取れないのであれば、次回にでも来ればいい。

それから、行政が説明責任を果たしていないことが一杯ある。その中で一つだけ申し上げるが、平成24年の水害の際、320人から330人程、セミナーハウスの体育館に地元の方が集まった。その際、市長に「市議員選挙が終わったら、保倉川放水路の話をしに来てください」と伝えた。その後、要望もし、催促もしたが、4年経った今でも、回答がない。市長と知事と総理大臣は、国民と市民の生命と財産を守ることが最優先の課題である。それができたら、他のことをやってもいいと言うくらい責任がある。その説明責任を果たせていないにも関わらず、「全庁を挙げて、説明責任を果たします」と言われても、佐藤課長が言った言葉は、軽くしか受け取れない。

だから、それについて、いつでもいいので、回答を持って来ていただき、この場で説明していただきたい。

平成24年、25年、26年と災害があり、平成23年にも「新潟福島豪雨」があり、東頸城から十日町に雨雲があって、運良く、頸南地方は降らなかった。関川と保倉川がT字路になっているから、もう少しで決壊しそうだったがしなかった。

テクノセンター、信越化学、日本ステンレス工材（現：日鉄住金工材株式会社）、太陽金属等の責任者で構成されている「五社会」というのがあるが、「今度、コンピューターが洪水等で壊れたら、移転します」とのことである。決壊していたら、その5社の従業員の家族を含めたら、約3万人に影響が出るということだ。合併特例債が減っている中で、3万人が転出したらどうなるか。

災害地は「有田区、保倉区、北諏訪区」である。私も有田区内に建物を持っているが、床下浸水になり、泥で埋まってしまった。何年間もこの問題が解決できていない。

定住化については、昨年、業者から1件だけ「保倉地区は水害に対して大丈夫か」という問い合わせがあった。今年は、3件、問い合わせが入っている。

そして、今日も正善寺川や高田方面で水が溢れて、県内のニュースでは、上越を取り上げていた。私も、今日保倉川を見に行ったが、9時15分には、それ程でもなかった。11時に保倉川に一番接している望みが丘の北側に行った。ここは水量が増えてくると内水面が上がる。地域的には頸城区だが、上五貫野の消防団が出て、ホースで保倉川が決壊する前に水を揚げています。午後1時15分に行った時、雨は止んでいるけど、保倉川の水はどんどん増えていた。午後になり水量が減るようなその頃になってやっと、市から委託を受けたであろう業者が来ていた。

今回の件も、保倉地区の消防団は勤めている人がほとんどだから、いる方だけでもい



いから、声を掛けて、見に行ってもらえるようお願いすればよかった。地元住民だから、保倉区のことにはよく知っている。税金が減っている中で、業者に頼まなくともよい。その業者も水量減ってきた時に来た。そのような市政を行ってはいは駄目である。

しかも、生命・財産で、過去に水害に遭った人は、説明がなく、ずっと怯えている。

先ほどの新クリーンセンターの担当課は何回も協議会に来て、丁寧に説明している。立派ではあるが、当然と言えば当然である。

「地方公務員法」を御存じか。それに、「不平等があってはならない」、「地方公務員（市の職員）は、奉仕者として誠意を持って努めなければならない」と書いてある。そういう法律に照らし合わせて、全てができるとは思っていない。だが、最低限、地方公務員は、これを基本にして市政をしてもらわなければ困る。

今、言ったことを課長に伝え、いつでもいいので、時間に余裕を持って答えていただきたい。そうしないと「全庁で責任を持ってやります」と言っただけで、すぐに帰られたのでは、説明責任を取っていない。

#### 【宮川会長】

他に意見等はないか。

#### 【吉田委員】

保倉小学校の児童数の推移を見て、少しほっとしているのだが、春日新田小学校と小猿屋小学校が統廃合するという話につけて、保倉小学校も児童数が減ってきているから、新学校が出来る機会に、統合したほうがいいのではないかと、という話を噂で聞いた。資料No.3の児童数だと、統合しなくてもいいと一安心した。この数字がこのまま推移していってもらい、少しでも増えてもらえればいいかなと思っている。今まで、このような資料を見たことがなかった。この数字が減らないように、1人でも2人でも増える方向に行けばいいと思った。

#### 【早津委員】

吉田委員の言うとおりでである。私も定住化を促進し、一人でも増えるように力を尽くす所存である。そして今年、定住化促進の事業で1軒増え、小学生が2人増えた。これは資料の数字には入っていない。逆に減っていれば、北諏訪小学校と統合してほしいと言われれば、おもしろくなくても反論できない。児童数が増えていけば、「増えるように努力している。何を言っているのか」と突き返せる。そういうふうにして、せめて、保倉小学校を守っていきたい。中学校はなくなり、農協もなくなった。その内、交番もな

くなるかもしれない。

ところが、山間部へ行くと、中山間地手当など、あらゆる助成金がある。町へ行けば町にも助成金はある。保倉区は「陸の孤島」になってしまう。どこの助成金にも触れることができない。そして、最後は置いてきぼりになってしまう。「絶対そうなるってはいけない」と強い意志を持ってやっている。

#### 【宮川会長】

お互いに心配しているが、唯一のよりどころの保倉小学校で体育大会をやれば、あれだけの人数が参加してくれる。だが、その場所がなくなってしまうということは、絶対にしたくないということも含めて、現委員、町内会長の皆さんで、頑張っ保倉地区を守ろうというのが、第一の目標だと思う。それらを頭に入れながら、これからの協議会の運営も、町内会や老人会等と手を組みながら、保倉地区の人口増に寄与したいと思っている。

他に意見等はあるか。

(意見なし)

事務局への確認だが、自主的審議の意見が出てこない場合、どのような進め方をしたらよいか。

#### 【関川センター長】

先ほど、「自主的審議の進め方」について、説明したが、今日の段階で、すぐに自主的審議として扱うのではなく、先ほど出てきた人口問題も含めて、地域活動支援事業の採択も終わっていく中で、これから何かあったら、どんどん出していただき、審議していただきたいと思っている。

市への意見もあったが、「地域でこんなことを考えて行きたい」などの考えがあったら、提案書を出していただき、それについて、保倉区の自主的審議事項として扱っていくかを次回以降の協議会内で話し合っていくという流れである。

#### 【宮川会長】

事務局で提案等はあるか。

#### 【関川センター長】

先ほど、星野主事から参考としてこんなテーマがあると、何点か挙げさせていただいたが、「地域で求めているものは何か」を話しあっていた中で、内容を詰めていく。あるいは、地域を知るために、どのような地域資源があるのかをもう一度洗い出してみ

るためには、どのようにしたらよいか。いろいろな自主的審議の内容はあると思う。

**【宮川会長】**

保倉地区公民館でも、いろいろな公民館講座をやっているが、保倉区は、会場へ行こうという方が、なかなかいない。私も「地域の歴史を知ろう」という講座を受けたが、ここに足を運んでくれる人がいないため、そちらのほうが苦勞しているようだ。

**【関川センター長】**

有田区では、地域の歴史を勉強されている方たちが、過去のデータを地域活動支援事業の補助金を使い、一つのデータにまとめた。このようなやり方もある。

**【宮川会長】**

保倉区の「村史」のようなものがあればいいのだが。以前、当公民館で公民館講座があった時に、古文書みたいなものを集めて、保倉区に昔あった村の成り立ちをお聞きして、興味を持った。

**【大堀委員】**

私が嫁いできた頃は、「保倉」という冊子があり、それに、地元の歴史に詳しい方が保倉の歴史を書いていた。今は、歴史がまとまっているような冊子はないのか。

**【宮川会長】**

「村史」みたいなものはない。ただ、その方は歴史家だったから家に行けば、古文書みたいなものがあるかもしれない。

**【大堀委員】**

それと、青野に住んでいた住職の方も、保倉区の歴史に詳しいから、そこへ行って聞けば、いろいろなことを教えてもらえると聞いたことがある。

私も、公民館講座に参加したいと思ったが、なかなか日程が合わず、参加することができなく、もったいないと思った。

**【宮川会長】**

話を聞いていると、我々の年になると、「なるほどな」と思う。

**【松林委員】**

保倉村史がないために、昔の保倉は「ため池係」があるが、ため池の中から先回は「かみよしの池」と「石川にある池」について話していた。松井という庄屋さんが石川に住んでいて、その方の家にある古文書を主にして、講座をしていた。今回は、「青野池」である。

## 【大堀委員】

先ほどの保倉区の人口の件だが、どうしたら人口が増えるのか。来た方に喜んでもらえるような地区じゃないと駄目だと思っている。せっかく来たが、「保倉区は大したことない」、「保倉小学校へ行ったけど、あまり大したことない」と言われないようにしないといけないと思っている。では、どんなことをしたら「この地域に来て良かった」と思ってもらえるか。保倉区住民になって、これから保倉区を盛り上げてくれる人が「来て良かった」と思えるような地域になっていなければいけないと思う。それには、先ほどおっしゃったような、保倉地区の歴史等を保倉区の住民が何も分からないのでは良くないので、その講座に参加して、ある程度の知識を持ち、子どもや孫に話をしてあげられるような存在の大人にならなければならないと思っている。地域の人も生き生きとしていて、地域の歴史にも詳しく「保倉ってこういう村だったのか」という話ができるような住民が増えたら、保倉区へ「来て良かった」と思ってもらえると思っている。

もう一つは、地域の活動である。公民館講座に参加する人は少ないが、市で「いきいきサロン」を実施しており、65歳以上が対象である。それ以外で、月1回だけ「脳トレ」や「体力の体操」みたいなものも実施しているようだが、そこにも1、2人くらいしか参加していない。参加人数を集めるのも大変とのことである。

常々、思っているのは、農協のボランティアの会で、他地区で「お茶の間」というのを2つの地域でやっており、脳トレも含めたゲームをいろいろやっている。1つの地域では、80歳に近い方たちが参加している。もう1つの地域は、70代の方が参加している。私は、お手伝いしながら、「いずれは自分もこうなっていくのか」と感じながらも、60代である今のうちから携わっていたほうがいいのではないかと思った。しかし、保倉区は働いている方が多く、仕事へ行ったり、農作業に追われて、このような会に参加する時間がないという状況である。だが、市の健康調査を見ると、早い年代から脳溢血になる人が多い、健康寿命が短いというデータが出ている。病気になってから後悔するのではなく、保健師の方が言うように、早い年代の内から、そういうことに関心を持ち、心掛けて参加するような地域性を作ることも大事だと感じている。

## 【宮川会長】

確かに主催者側は、人が集まらなくて困っている。私も連絡を受け、時間があつたから出席した。2時間くらいの講座であったが、話を聞くと興味が出るものもある。

## 【山岸委員】

「いきいきサロン」で人が集まらないということで、有田区や北諏訪区の「いきいきサロン」に入れてもらった。参加者は保倉区が1、2人、有田区は15人くらいであり、北諏訪区は5、6人だった。

保倉区の人数が少ないから、社会福祉協議会の方が来られて、「どうしたらよいか」と相談された。平日の昼間に講座を開催しているのだから、車を運転しないと来られない。運転できない人が多いから、駒林でモデルケースとして「出前講座」をやったらどうかと提案した。

私の地区では、老人会の役員会が月の第一火曜日にある。そこにチラシを配って、「年齢は問わないので、来てください」とお話した。6月に1回目を開催したが、20名集まり、7月の2回目にも18名集まった。次は8月2日（火）に開催するが、みんなで声を掛け合って、試験的に行っている。

町内で集まる機会があれば、そこへ出向き「公民館で待っているよりは、『こういう講座があり、出前講座をやるので来てください』と言ったほうがいい」と社会福祉協議会へ提案させてもらった。

私も、毎回参加しているがおもしろい。みんな笑って楽しんでいる。

**【大堀委員】**

確かに、そこで待っているだけでは駄目だと思う。その講座が良いということを知れば、集まってくださる。

**【宮川会長】**

まずは、どうやって集めるかである。

**【大堀委員】**

その地域の人たちが歩いて行ける範囲の場所で開催することが良いと思う。

**【山岸委員】**

やはり「楽しかった」という印象を持たせないと集まらない。

**【宮川会長】**

終わった後は、お茶会もするのか。

**【山岸委員】**

皆さんから100円ずついただいでお茶会もする。駒林では、役員の方に煮物、漬物を持って来ていただいている。終わってからのほうが賑やかかもしれない。

**【宮川会長】**

山岸委員の地域のような実例を各町内に広めていけるような何かがあればいい。駒林は大きな町内であり、委員は民生委員でもあるから、なおさら声を掛けやすいが、うちの町内のように小さな町内だと、1、2人しかいないから集めるというのは、なかなか難しい。

**【松林委員】**

私の町内も昔から見たら、老人会の人口が増えているので、町内ごとに何かをやるという提案をするのは良いと思う。

**【大堀委員】**

事業者の方も「言っただけならば、いつでも出前講座をする」と言っている。

頭が固くなっている人もいると思うので、考えられた講座の中で、やらせてもらうということは良いことだ、と思う事が沢山ある。

**【松林委員】**

「介護」という言葉が載っていると、そこへ行きたくないと思う人もいる。だから「いきいきサロン」みたいな場所に参加したとしても、「介護」という言葉を載せると抵抗があるのかもしれない。

**【宮川会長】**

人を集めることを如何にするかは大事なテーマだと思う。

**【大堀委員】**

お年寄りが元気なことも保倉区が「良い地域」だと思われることのひとつだと思う。

**【宮川会長】**

他区から保倉区へ来て、保倉小学校へ通ってもらうことになると思うが、親同士も隣近所で仲良くできるような雰囲気があればいけない。子どもは、友達作りは上手だが、大人は、なかなかうまくいかない。そこら辺も上手に包み込んで「よくしてくださいました」と言い合えるような、地域づくりをしていかないと、うまく行かないと思う。

このような共通話題が沢山あるが、地域協議会委員だけではなく、他の団体を引き込んで意見交換をする場があってもいいのではないかと思っている。町内会、民生委員、老人会、保倉小学校PTA等、見ている視線が違うと思うので、いろいろな話題提供をしていただければと思う。

**【関川センター長】**

今回の意見を整理させていただき、皆さんへ示したいと思う。

【宮川会長】

何か行動を起こしながら、少しでもいい方向進めるよう、地域協議会でも提案していきたい。

今回の話し合いで、結論は出なかったが、総論を踏まえて、具体的にどうするかは、事務局で整理してもらい、検討していきたいと思う。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

次回の協議会は、地域活動支援事業の追加募集の採択審議を予定している。

- ・現在の相談状況を報告
- ・次回協議会の事務局案：8月23日（火）または30日（火）

【宮川会長】

— 日程調整 —

- ・次回協議会：8月23日（火）午後6時から

【星野主事】

- ・「地域協議会委員の勤務先への協力要請」について説明

【宮川会長】

- ・地域活動支援事業追加募集の相談があったことについて報告

他にも、皆さんから提案があれば、出していただきたいと思うが、どうか。

【早津委員】

2、3年前に「保倉小学校近辺と、保倉保育園の近辺に防犯カメラを設置したい」と言ったら、教育委員会では「今までの事例もないし、難しい」言われた。

柏崎市や長岡市で学校周辺に防犯カメラが設置されたので、上越市でも設置するか、という安全な形で、他市を見て、ようやく動き出す。これが上越市の性格である。一概に悪いとは言わないが、他がやっていなくともやるかという、積極的な自主性がない。

都会へ行ったら、人権に関係なく、いろいろな場所に設置されている。農村地帯で事件が起きないという保証は全くない。教育委員会は、硬直した考え方だから、当分駄目だと思っているが、例えば、保倉区の主要道路に一気に付けられなくとも、一つでもいいので設置していただきたい。今、事件が起きて、一番早くヒントを得て、警察が動き出して検挙するのは、圧倒的に防犯カメラである。

【宮川会長】

防犯カメラは、ランニングコストが掛かるのか。

**【早津委員】**

少し電気料が掛かる程度で、ほとんど掛からないと思う。

— 防犯カメラの仕様について確認 —

**【宮川会長】**

では、委員の皆さんから何か提案があれば、私のところへ連絡いただきたい。

今まで地域活動支援事業で採択された事業を見に行くのも、一つの方法だと思っている。青野池が「ため池百選」に選ばれたので看板を立て、かみよしの池も白鳥の看板も立てた。それは全て、地域活動支援事業の補助金である。今回、保倉小学校の入口のバス停も当補助金で修理し、子供たちは喜んでいる。今後も、地域のために役に立つことをしていきたいと思っているので、皆さんからいろいろ提案していただきたい。

**【吉川副会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。